

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和5年第8週の発生動向

トピックス

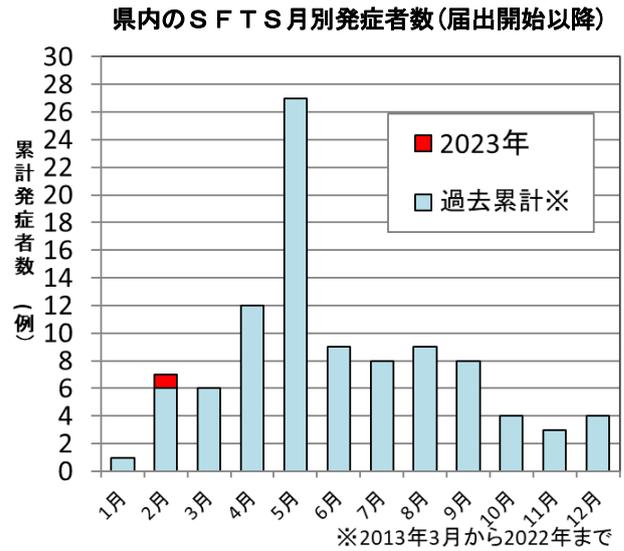
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症) の報告が宮崎市保健所管内からあった。患者は50歳代の男性で、ダニの刺し口は確認できなかった。県内での報告は、累計98例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	4	22	38	25	5

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が657例あり、先週(1,026例)の約0.6倍であった。2023年の累積報告数は53,327例となった。※詳細は宮崎県新型コロナウイルス感染症特設サイトを御覧ください。



全数報告の感染症 (8週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核1例。3類感染症：報告なし。

4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例、つつが虫病1例。5類感染症：梅毒1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	男	肺結核	咳、痰
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	50歳代	男	—	発熱、頭痛、嘔吐、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少
	つつが虫病	都城	20歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
5類	梅毒	宮崎市	60歳代	男	無症状病原体保有者	なし

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,206人(定点当たり26.5)で、前週比74%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は水痘で、減少した主な疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱及び感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

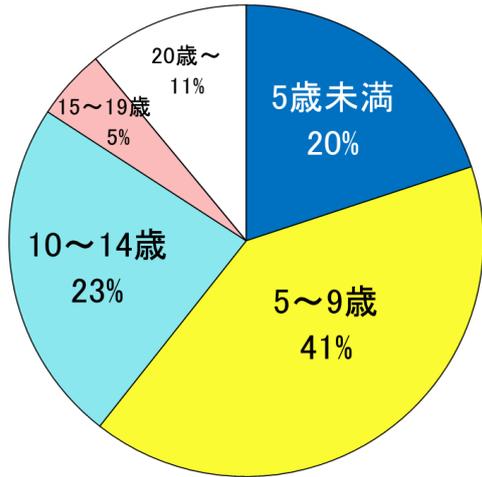
報告数は703人(12.1)で、前週比67%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(9.6)の約1.3倍であった。延岡(21.7)、日向(20.7)、都城(12.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は5歳から9歳が全体の約4割を占めた。

【感染性胃腸炎】

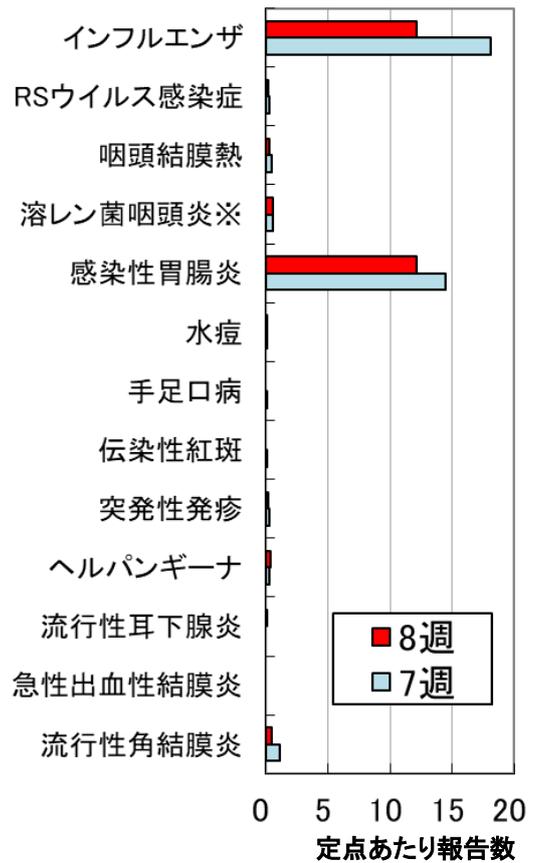
報告数は437人(12.1)で、前週比84%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(8.9)の約1.4倍であった。小林(28.7)、中央(18.0)、都城(15.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から4歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

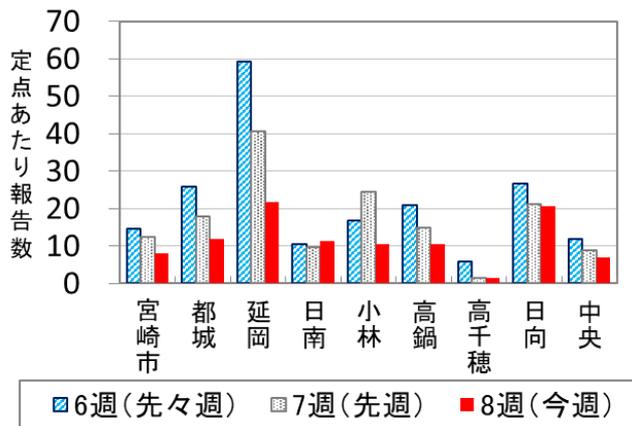
インフルエンザ年齢群別グラフ(第8週)



《前週との比較》

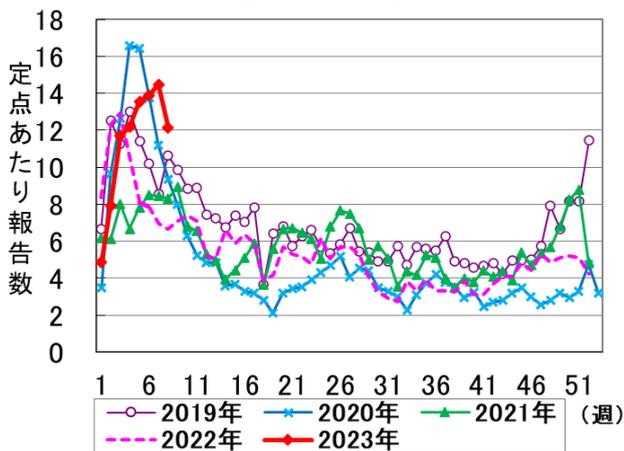


インフルエンザ 保健所別推移(3週分)

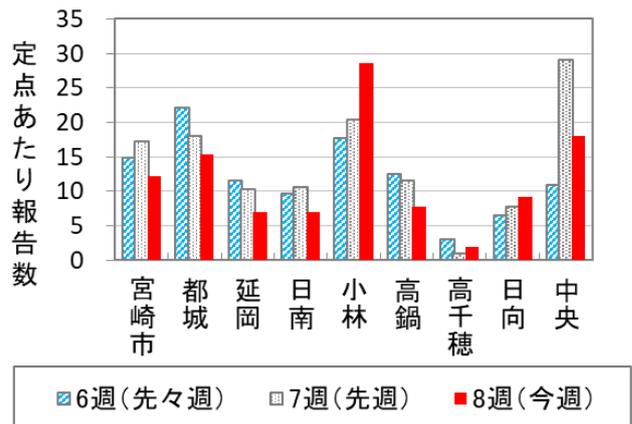


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	インフルエンザ(12.0)
延岡	インフルエンザ(21.7)
日南	インフルエンザ(11.4)
小林	インフルエンザ(10.5)、感染性胃腸炎(28.7)
高鍋	インフルエンザ(10.5)
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(20.7)
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値*

・感染性胃腸炎(20)

* 流行注意報レベル基準値*

・インフルエンザ(10)

🇯🇵 全国 2023 年第 7 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	205 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	18 例	腸チフス	1 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E型肝炎	12 例	A型肝炎	3 例	オウム病	1 例
	サル痘	2 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例	つつが虫病	2 例
	デング熱	3 例	レジオネラ症	20 例	レプトスピラ症	1 例
5類感染症	アメーバ赤痢	11 例	ウイルス性肝炎	6 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	30 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例	後天性免疫不全症候群	16 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	19 例	水痘(入院例)	3 例	梅毒	201 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	11 例
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	2 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 100%と横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は咽頭結膜熱と水痘で、減少した主な疾患は特になかった。

インフルエンザの報告数は 62,101 人(12.6)で前週比 97%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(11.2)の約 1.1 倍であった。福井県(49.0)、石川県(46.4)、岩手県(34.0)からの報告が多く、年齢群別では 5 歳から 9 歳が全体の約 4 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 23,029 人(7.3)で前週比 101%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(4.6)の約 1.6 倍であった。愛媛県(17.5)、宮崎県(14.5)、富山県(12.3)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 4 歳が全体の約半数を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 第08週(02月20日～02月26日)

疾病名		第07週	第08週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1049	703	128	120	152	57	42	63	3	124	14
	定点当り	18.09	12.12	8.00	12.00	21.71	11.40	10.50	10.50	1.50	20.67	7.00
RSウイルス 感染症	報告数	10	7	1	3				2			1
	定点当り	0.28	0.19	0.10	0.50	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	18	9	3				3	1	1		1
	定点当り	0.50	0.25	0.30	0.00	0.00	0.00	1.00	0.25	1.00	0.00	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	20	21	3	9		5					4
	定点当り	0.56	0.58	0.30	1.50	0.00	1.67	0.00	0.00	0.00	0.00	4.00
感染性胃腸炎	報告数	521	437	122	92	28	21	86	31	2	37	18
	定点当り	14.47	12.14	12.20	15.33	7.00	7.00	28.67	7.75	2.00	9.25	18.00
水痘	報告数	1	5	2	1		1		1			
	定点当り	0.03	0.14	0.20	0.17	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	12	7	2		2	1		1		1	
	定点当り	0.33	0.19	0.20	0.00	0.50	0.33	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	12	13	4		9						
	定点当り	0.33	0.36	0.40	0.00	2.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	7	3	3								
	定点当り	1.17	0.50	1.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第01週～08週)

2類感染症	結核	18例(1)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例	腸チフス	1例
	重症熱性血小板減少症候群	1例(1)	つつが虫病	7例(1)
4類感染症	ウイルス性肝炎	1例	急性弛緩性麻痺	1例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	1例
	梅毒	16例(1)	百日咳	2例
5類感染症	レジオネラ症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
新型インフルエンザ 等感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	3例		
	新型コロナウイルス感染症	53327例(657)		

()内は今週届出分、再掲